



2



1



4



3



5

- 1 お客様の予算や要望に合わせて修理方法を提案。塗装が別の場所にかからないように、テープやビニールシートで保護することも徹底する。
- 2 塗装に使うスプレーガンは、色の系統ごとに使い分ける。
- 3 地域の安心・安全の要である消防団では、第13分団(西上宮・新村・宮園地区)の分団長を務めた。
- 4 5園児たちが明るい未来への願いを込めて書いたメッセージを付けて飛ばした色とりどりの風船。風船やメッセージ用紙は環境に配慮した素材を使用。

# 住人十彩

2021 April  
#12 ~宮崎誠さん~



このコーナーでは、地域の頑張っている人や団体を紹介します。  
今回は宮崎钣金塗装工場の宮崎誠さん(西上宮)です。



## 11の道20年の確かな技

宮崎誠さん(42)は、両親と妻の亜樹さん、小学4年生と1年生になる2人の息子と暮らす6人家族。

車の钣金塗装のほか、車検や新車・中古車販売などを取り扱う「宮崎钣金塗装工場」の代表として、日々車と向き合う。

「子どものころから将来は車に携わりたかと思っていました。」と話す誠さんは、八代工業高校を卒業後、広島県内の車関連会社に就職。4年間で学んだ様々な知識は、現在の仕事にも活かされているという。

22歳で宮崎钣金塗装工場に戻り、34歳で創業者である父・巴吉さんから代を継いだ後も、日々研究を積み重ねて腕を磨いてきた。

メインの仕事である钣金塗装は、専用の工具やパテを使って傷やへこみを直す「钣金」と、剥げた塗装を元に戻す「塗装」の2つの工程からなり、高い技術と長年の経験がものをいう。

なかでも塗装は、単色のソリッド、金属のような光沢のメタリック、真珠のような独特の輝きのパール、3種類に分けられ、数百種類にもなる原色を配合して作った色を、さらに何層にも分けて塗装する必要がある。骨の折れる作業である。

また、年数の経過などで車の色は徐々に変化するため、それぞれの車の状態に合わ

せた「調色」作業は必要不可欠。仕上がりに大きく影響するこの作業は、誠さんの腕の見せどころでもある。

## 熱心な地域活動

仕事でも、それ以外でも、地域に根ざした活動に熱心に取り組む。

加入している商工会では、活動を通じて様々な事業者とお互いの仕事について語り合い、交流を深める。入団して20年以上になる消防団では、分団長を務めた経験もあり、地域の安心・安全を守るために活動している。

「地域の活動を通じて色んな人との交流ができます。大変ですけど、やりがいがありますよ。」と話す誠さん。

後援会長を務めていた保育園では、新型コロナウイルスの影響で相次いでイベントが中止となっていたが、「園児たちに思い出をつくらせてあげたい。」と、保護者同士で何ができるかを話し合い、感染が収まってきた3月に「バルーンリリース」を開催し、約70人の園児たちを喜ばせた。

仕事も地域活動も意欲的な誠さんだが、「コロナが落ち着いたら、家族でどこか旅行にでも行きたいですね。」と家族思いの一面も見せる。